

## 2019-2020 スケルトン強化部方針と対象選手選出方法

### ① <<方針>>

#### 大目標

2026年、2030年オリンピックでのメダル獲得

#### 考え方

大目標達成のために、長期プランに基づき、選手強化、発掘に優先的に投資する

#### 2019-2020 の方針

- 従来までの、選手選考（評価）⇒派遣、の流れから、強化対象選手に対して長期的な強化を行う流れに変更
- 強化対象選手に対しては、個々の課題に応じて個別指導等も取り入れながら強化を行う。

#### 2019-2020 の目標

- ノースアメリカンカップおよび世界ジュニア選手権における上位入賞
- ユースオリンピックにおける上位入賞

#### 強化対象選手

7月測定会において、強化対象選手を選考する。

#### 選手発掘

これまでの選手発掘や今後のトライアウト等で発掘された選手を評価し、将来性が期待できる選手に対して、育成合宿等での育成を行う。

#### 国際大会派遣選考

強化対象選手の派遣大会決定後、残りの出場枠があった場合に、国際大会派遣選手選考会を実施し、派遣選手を決定する。

## ② ≪強化対象選手の選出≫

### 方法

各種体力測定・面談

### 第1回測定会

日時：2019年7月12日（金）、13日（土）※いずれかの日程

場所：国立スポーツ科学センター 陸上実験場

内容：30m走、立ち幅跳び、メディシンボール投げ（フロント・バック）、10秒間  
全力ペダリング、クリーン、スクワット、面談

評価方法：各測定値の目標値に対する到達度、年齢、経験年数、トレーニング環境、意思、等を総合的に評価し、大目標および2019-2020目標達成の可能性のある選手を選出する。

### 強化対象選手の追加

測定会・大会成績などにより、能力が認められる選手を追加する場合がある。

### 強化対象選手からの除外

強化対象選手に選出された選手でも、以下のような場合には除外される場合がある。

- 著しくパフォーマンスの低下が認められた時
- 怪我、病気などによりトレーニング継続が困難となった時
- 合宿、遠征に参加できないなど、トレーニング環境が整わなくなった時
- 選手本人に競技継続の意思がなくなった時
- スポーツインテグリティに反するような行動が認められた時
- その他

- 強化対象選手の中からJOC強化指定選手を選定し推薦する。人数は、JOCから認められた人数とし、総合的評価上位選手から推薦する。JOC強化指定選手以外をNF強化指定選手とする。
- 強化対象選手に対して、強化合宿や個々の課題によって個別指導等の取り組みを行う。
- 強化対象選手のパフォーマンス、競技経験に応じて最適と思われる国際大会に派遣する。経験が浅い選手の場合は、大会派遣を行わずトレーニングを優先させる場合もある。
- 前年度JOC強化指定の選手は、怪我・病気等があった際には測定会の結果にかかわらず、面談等を行い、状況によって強化対象を継続する事とする